

平成29年度

災害ボランティア シンポジウム

Disaster in 三重 Volunteer

参加無料 定員100名

日時

平成30年1月13日(土)
13:30~16:20 (13:00開場・受付)

会場

ホテルグリーンパーク津
〒514-0009 三重県津市羽所町700

プログラム

13:30

開会・主催者挨拶

13:40~14:40

高齢化社会での防災ボランティア活動について考える

講演 (60分)

林 春男 (はやし・はるお) 国立研究開発法人防災科学技術研究所理事

14:50~15:20

できることからはじめよう!

事例発表 (30分)

私にもできる災害・減災ボランティア

浦野 愛 (うらの・あい) 認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード常務理事

15:20~16:20

林 春男 × 浦野 愛

意見交換 (60分)

意見交換進行役 山本 康史 (やまもと・やすし) 特定非営利活動法人みえ防災市民会議議長

主催 三重県/一般財団法人地域社会ライフプラン協会

共催 社会福祉法人三重県社会福祉協議会

協力 特定非営利活動法人みえ防災市民会議

※このシンポジウムは、自治宝くじの市町村振興事業として、一般財団法人全国市町村振興協会の助成金を活用して開催しています。

平成29年度 災害ボランティア シンポジウム in 三重

Disaster Volunteer

開催趣旨

三重県では、近い将来、南海トラフ地震等の大規模災害の発生が懸念されています。被災地域の復旧・復興のためには、様々な災害ボランティアによるきめ細やかな支援活動が必要不可欠な存在となっています。中でも、少子高齢化社会を迎え、シニア層が増加する中、その豊富な人生経験を生かしたシニア世代による即戦力としてのボランティア活動が期待されています。

三重県、一般財団法人地域社会ライフプラン協会及び三重県社会福祉協議会では、災害ボランティアをテーマに、課題の指摘、今後のボランティア活動の展開、ネットワークの構築について意見交換し、被災地域における活動や災害ボランティアの役割について理解を深めるため、本シンポジウムを開催します。

講師・事例発表者・意見交換進行役プロフィール



林 春男 (はやし はるお)

国立研究開発法人
防災科学技術研究所
理事長

1951年東京都生まれ。1983年カリフォルニア大学大学院ロスアンジェルス校心理学科博士号(Ph.D)取得。専門は社会心理学、危機管理、災害時の人間行動。京都大学防災研究所教授を経て、2015年10月1日より現職。2013年9月防災功労者内閣総理大臣表彰受賞。文部科学省科学技術・学術審議会専門委員、防災教育チャレンジプラン実行委員会委員長、「防災スペシャリスト養成」企画検討会座長、大規模災害時における被災者の住まいの確保策に関する検討会委員等。「いのちを守る地震防災学」(2003年、岩波書店)、「災害のあと始末 東日本大震災緊急改訂版」(2011年、エクスナレッジ)、「しなやかな社会の挑戦」(2016年、日経BPコンサルティング)など著書多数。



浦野 愛 (うらの あい)

認定特定非営利活動法人
レスキューストックヤード
常務理事

1976年生まれ。静岡市出身。阪神・淡路大震災では、同朋大学の学生が設立した支援サークル「同朋大学ボランティアネットワーク」に所属し、被災者支援にあたる。卒業後、特別養護老人ホームデイサービスセンターで寮母として勤務したのち、レスキューストックヤードの設立と同時に事務局スタッフとなり、2004年度より事務局長、2009年度より常務理事を務める。災害時要援護者への支援事業を中心に、地域防災・災害ボランティア等、各種講演会・講座講師、支援プログラムの企画・運営を行っている。社会福祉士。



山本 康史 (やまもと やすし)

特定非営利活動法人
みえ防災市民会議
議長

大学生時代の1995年、阪神・淡路大震災で初めて災害ボランティアに避難所運営補助として参加し、1997年のナホトカ号重油流出事故では三国町ボランティア本部総括として現地で2ヶ月半の間活動に関わった。2000年、三重県防災ボランティアコーディネーター養成協議会(2008年NPO法人みえ防災市民会議に改称)に参加し、現在同団体議長を担っている。東日本大震災の際には三重県や三重県社協らと共に立ち上げたみえ災害ボランティア支援センターのセンター長を務めた。本業は中国商社役員。1男1女の父であり夫としても奮闘中。

参加申込

三重県環境生活部 ダイバーシティ社会推進課 NPO班
までFAXまたはメールにてお申し込みください。

FAX: 059-222-5984

FAXは下記フォームにご記入の上、お申し込みください。

E-mail: seiknpo@pref.mie.jp

※気象状況により、やむを得ず中止することがあります。
中止の際は、メールにてお知らせいたします。メールアドレスの記載がない方には、電話にてご連絡いたします。

申込締切 平成 **30** 年 **1** 月 **9** 日 **火**

問合せ先 三重県環境生活部 ダイバーシティ社会推進課 NPO班 TEL: 059-222-5981

交通アクセス

電車でお越しの場合

JR・近鉄津駅から
徒歩1分

車でお越しの場合

伊勢自動車道
津ICから約15分



災害ボランティアシンポジウム in 三重

FAX申込書

※個人情報の収集、利用については、本シンポジウムに係る事務に必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者氏名	所属	電話番号	メールアドレス

三重県環境生活部 ダイバーシティ社会推進課 NPO班 FAX: 059-222-5984